

教科	理科	科目	化学基礎	開講学期	前期	単位数	2	試験	前期
タイプ	Ⅲ	レポート数	6	スクーリング必要時数		8	スクーリング実施時数		13

教科書(発行者)	改訂 新編化学基礎(東京書籍)
補助教材(発行者)	化学基礎 学習書(NHK出版)

科目の目標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。		
	1 知識及び技能	2 思考、判断、表現等	3 学びに向かう力、人間性等
	日常生活や社会との関連図りながら、物質とその変化について理解する。 科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

評価の観点及びその趣旨	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連図りながら、物質とその変化について理解しているか。 科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	観察・実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。

単位認定	全レポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。
評価の方法	評価はレポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。

学期	レポート	学習内容	スクーリング	試験
前期	第1回	化学と人間生活 物質の構成	第1・2回	前期
	第2回	物質の構成 化学結合	第3・4回	
	第3回	物質の構成 化学結合	第5・6回	
	第4回	物質量と化学反応式	第7・8回	
	第5回	酸と塩基	第9・10回	
	第6回	酸化還元反応	第11・12・13回	